

【8月22日(木)】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
1	9:00~10:40	<p>【福岡女子大学の歴史】</p> <p>1923年に日本で初めての公立女子専門学校として誕生以来、100年の歴史をもつ福岡女子大学について、各時代の状況や理想に合わせて変化してきた女性像という視点から考察します。</p> <p>(グループワークあり)</p>	渡邊 俊 准教授 福岡女子大学 国際文理学部	福岡女子大学 セミナー室2
2	11:00~12:40	<p>【温湿度や光などの住環境因子による人間への生理心理的作用】</p> <p>近年、猛暑日の増加に伴い、熱中症による救急搬送数も増加しています。また、人工照明や情報機器端末の普及が睡眠問題の原因の一つと言われています。このような温熱や光環境がヒトに与える影響について概説し、健康的な環境条件について考察します。</p>	小崎 智照 教授 福岡女子大学 国際文理学部	
3	13:40~15:20	<p>【PM2.5などの大気汚染物質と健康有害性】</p> <p>様々な人間活動により排出されるPM2.5などの大気汚染物質について、その発生源や特徴を解説するとともに、それらの健康への影響及び個人ができるPM2.5の脅威から身を守る方法について分かりやすく紹介します。</p>	馬 昌珍 教授 福岡女子大学 国際文理学部	福岡女子大学 C-101 教室

【8月23日（金）】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
4	9:00～10:40	<p>【環境配慮行動の促進に向けたデザイン】</p> <p>地域・地球規模で発生する環境問題の影響を受け、人々の環境配慮に対する態度は高まっています。しかし、必ずしも態度と行動が一致しているとは限りません。この講義では、環境配慮行動の促進に向けたデザインについて考えます。 (グループワークあり)</p>	<p>岩崎 慎平 准教授 (福岡女子大学 国際文理学部)</p>	福岡女子大学 セミナー室2
5	11:00～12:40	<p>【家庭からの節水・省エネ・省CO2 対策】</p> <p>我が国では家庭からのCO2 排出量を2030年までに2013年度比で約66%削減を目標としています。家庭からのCO2 排出削減のために重要な節水・省エネ等の省CO2 対策について、定量的に考えていきます。 (グループワークあり)</p>	<p>豊貞 佳奈子 教授 (福岡女子大学 国際文理学部)</p>	
6	13:40～15:20	<p>【循環型社会形成のための衣生活】</p> <p>近年の衣服の消費行動は、「長く大切に着る」習慣が薄れ、大量消費による環境負荷等の課題が指摘されています。衣服の生産から廃棄までが環境問題と関連していることを解説し、循環型社会形成に向けた衣生活の在り方について考えます。 (グループワークあり)</p>	<p>庄山 茂子 教授 (福岡女子大学 国際文理学部)</p>	
7	15:40～17:20	<p>【使用済み紙おむつのリサイクル】</p> <p>紙おむつは育児と介護の必需品とも言われ、身近な日用品のひとつですが、使用後は大量の水分を含んでいるにもかかわらず、主に焼却処理されています。福岡県内の民間企業が使用済み紙おむつを有効利用する取り組みを始めており、行政の動向と共に解説します。</p>	<p>吉村 利夫 教授 (福岡女子大学 国際文理学部)</p>	

【8月26日（月）】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
8	9:00～10:40	<p>【ものづくりと消費による環境への負荷】</p> <p>自動車、家具、家電製品、雑貨、製品パッケージなど、便利な生活には無くてはならないものです。私たちの日々の生活を支える大量生産品、その商品開発の裏側と環境への影響を知ることから、私たちの暮らしの未来の姿について考えます。</p>	佐藤 昭則 准教授 (九州産業大学 芸術学部)	九州産業大学 3号館 3303 教室
9	11:00～12:40	<p>【まちなかの身近なバリアフリーデザイン】</p> <p>現在、福岡市では天神ビックバンなどの都市開発誘導事業で建物が刷新されています。新しい建物は、高齢者や障害者がスムーズに移動できるように配慮されていますが、意外と気づきにくいものです。この講義では、まちなかの身近なバリアフリーデザインについて考えます。</p>	松野尾仁美 准教授 (九州産業大学 建築都市工学部)	
10	13:40～15:20	<p>【居住環境デザインの効果の科学的解明】</p> <p>居住者が快適で健康的にすごせるように、その環境を人間の生活に適した状態に整えたい。では、人間の生活に適した状態とは？守るべき法律や基準は？そんな居住環境デザインの手法と、その効果について、科学的に解明します。</p>	香川 治美 教授 (九州産業大学 建築都市工学部)	
11	15:40～17:20	<p>【九州産業大学の歴史と現状】</p> <p>1960年（昭和35）年に九州産業大学の前身である「九州商科大学」が開学してから64周年を超えた九州産業大学。創設者の中村治四郎氏の生い立ちから、教育への飽くなき情熱などを振り返る。</p>	松原 岳行 教授 (九州産業大学 国際文化学部)	

【8月27日(火)】

	時間	講義内容	担当者	開講場所
12	9:00～10:40	<p>【自然災害と地域防災】</p> <p>日本は自然災害が発生しやすい国土環境であり、これまでに甚大な被害が発生しています。国や地方自治体が防災対策を推進しており、なかでも地域の防災対策が求められています。それはなぜでしょうか？過去の災害事例の解説とグループにわかれて防災訓練を実施しながら考えます。</p>	山田 忠 准教授 (九州産業大学 建築都市工学部)	九州産業大学 3号館 3303 教室
13	11:00～12:40	<p>【地域防災のデザイン】</p> <p>前回の授業を踏まえて、グループで地域の防災対策では何が重要で、どのように対策を進めていけばよいか議論し、成果をパワーポイントにまとめて発表します。</p> <p>※グループでパワーポイントを作成するためにノートパソコンがあると望ましい。</p>	山田 忠 准教授 (九州産業大学 建築都市工学部)	
14	13:40～15:20	<p>【環境問題と国際協力】</p> <p>この授業は、グローバルな視点から環境問題を把握し、持続可能な未来を構想するための力を養うことを目的とします。具体的には、1990年代から長期にわたり水道整備支援を行っている北九州市の事例を取り上げます。政府機関や自治体、地域住民間の協働によって環境問題が改善した事例を学ぶことで、多角的な視点から環境問題を理解する重要性を学びます。</p>	秋保 さやか 講師 (九州産業大学 国際文化学部)	